

鬼のつぼ 大分県

むかし、ひとりの旅人が、山道で小さなつぼを拾いました。旅人は、「なんだろう」と思つて、ふたを開けてみました。すると、つぼの中から、によると、大きな鬼が出て来ました。鬼は、旅人に向かつて、

「こらあ。取つて食うぞ」とさげびました。旅人はびっくりして、

「どうか助けてくれ」といいましたが、鬼は、旅人をつかまえて、飲みこもうとしました。旅人は、

「そんなら仕方がない。食べてくれ。でも、その前に、教えてくれ。あんたみたいな大きな体のものが、ようまたそんな小さなつぼの中に入ったもんだ。どうやって入ったのか、教えてくれ」といいました。

鬼はいぼつて、

「そんなこと、わけはない。よう見ておれ」というなり、つぼの中へすうつと入つてしまいました。旅人は笑つて、つぼにふたをしました。それから、つぼを山のほら穴の中に投げこんでしまいましたとき。これでおしまい。

もうしもうし米ん団子。

原話…『大分県直入郡昔話集』鈴木清美／三省堂
再話…村上郁